

Chanbara, the Art of Japanese Sword Fight Part 1: **Utaemon Ichikawa**

**CHANBARA ①**  
**市川右太衛門**



寶の山に入る退屈男

**N F C**  
小ホール  
**京橋**  
**映画**  
**小劇場**  
**KYOBASHI-ZA**  
No.5

2007年 2月16日金 - 3月4日日

※金曜日・土曜日・日曜日の上映となります。

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

開映後の入場はできません。

定員=151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

- ・観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前行い、定員に達し次第締切となります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

**National Film Center**  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

小ホール  
上映作品

CHANBARA①

市川右太衛門

Chanbara, the Art of Japanese  
Sword Fight Part 1:  
Utaemon Ichikawa

日本の時代劇が看板としてきた剣戟映画は、「チャンバラ」の愛称で老若男女を問わず数多くの映画ファンに親しまれてきました。その豊饒な伝統を顕彰すべく、この度フィルムセンターは、日本の剣戟スターに焦点を当てる新シリーズ「CHANBARA(チャンバラ)」を開始いたします。その第1回として、この2月25日に生誕100周年を迎える名優・市川右太衛門を特集します。歌舞伎から映画界に転じ、自ら設立した市川右太衛門プロダクションや新興キネマ・大映での活躍を経て、戦後には片岡千恵蔵とともに東映時代劇の頂点に立つこととなった右太衛門は、長年に渡って時代劇人気を支え、300本以上の作品に出演しました。その現存作品の中から、剣戟を見せ場とする時代劇9作品を「京橋映画小劇場」の第5回企画として上映します。

きらびやかな衣裳をまとった生涯の当たり役・早乙女主水之介が活躍する「旗本退屈男」シリーズをはじめ、明朗でスケールの大きい芸風、威風堂々とした立ち姿の美、そして舞踊の素養を活かした鮮やかなアクションをどうぞお楽しみください。

- 監修 〇原案 〇脚本・脚色 〇撮影 〇美術・装置 〇音楽 〇出演
- クレジット中のオレンジ色の字は市川右太衛門の役名です。
- 本特集には断片もしくは不完全なプリントが含まれています。
- 記載した上映分数は、当日のものとは多少異なることがあります。

1 2/16(金)2:00pm 2/24(土)3:00pm

まぼろし峠 東京篇

(12分・18fps・35mm・無声・白黒・断片)

本来は前篇「江戸篇」と後篇「東京篇」に分かれ、各篇2時間以上ある長篇であるが、残存するフィルムは後篇の12分のみ。残存部分に剣戟シーンはないが、当時の批評からは、本作品の剣戟の質の高さが察せられる。

'31(市川右太衛門プロダクション)大庭陣兵衛 古野英治 佐々木味津三 瀬川与志 大井幸三 高堂国典 梅田菊蔵 武井竜三 駒井浅枝 大江美智子 河上君栄

祐天吉松(68分・35mm・白黒・不完全)

講談などで知られる同名の話の映画化作品で、数々の時代劇映画を手掛けた名職人、森一生監督の2作目の長篇。平穏な日々を送る元スリの主人公(右太衛門)はつくづくすつてくる男を斬って以来身を隠すが、戻ってみると置き去りにした家族は姿を消していた…。上映するのは、フィルムの5巻目が欠如した不完全版。

'37(新興京都)祐天吉松 森一生 八尋不二 三木稔 上里義三 佐藤麟雄 松平龍子 葛木香一 松本三郎 原聖四郎 小泉嘉輔 川崎猛夫 森田肇 水野浩 春路謙作 於久長三郎 星野辰男 岩崎健一 石橋玉五郎

	金曜日	土曜日	日曜日
2月	2:00pm 1 祐天吉松 他	0:00pm 3 大江戸五人男	0:00pm 5 旗本退屈男 謎の幽霊船
	6:00pm 2 寶の山に入る退屈男	3:00pm 4 乞食大将	3:00pm 6 浪人八景
	2:00pm 7 旗本退屈男	0:00pm 9 忍び大名	0:00pm 4 乞食大将
3月	6:00pm 8 きさらぎ無双剣	3:00pm 1 祐天吉松 他	3:00pm 2 寶の山に入る退屈男
	2:00pm 3 大江戸五人男	0:00pm 7 旗本退屈男	0:00pm 8 きさらぎ無双剣
	6:00pm 6 浪人八景	3:00pm 5 旗本退屈男 謎の幽霊船	3:00pm 9 忍び大名

2 2/16(金)6:00pm 2/25(日)3:00pm

寶の山に入る退屈男(65分・35mm・白黒)

1930年に始まった「旗本退屈男」シリーズの中で戦前最後の作品。正義感の強い自由人である旗本退屈男こと、早乙女主水之介の生き様に共感した右太衛門は、どこから撮ってもカメラの枠に美しく収まるよう編み出した技「諸羽流正眼崩し」を披露しつつ、30本を越える退屈男作品に主演した。

'38(新興京都)早乙女主水之介 西原孝 佐々木味津三 原健一郎 竹野治夫 深井史郎 高山廣子 國友和歌子 甲斐世津子 原聖四郎 水野浩 光岡龍三郎 小酒井健 松本三郎 玉置恵之助 春日井一平 東大路健策 森田肇 片岡好右衛門

3 2/17(土)0:00pm 3/2(金)2:00pm

大江戸五人男(132分・35mm・白黒)

松竹30周年を記念して製作され、八尋、柳川、依田の大脚本家3人が脚本を手掛けるオールスター出演作品。当時の東映映画の経営難により右太衛門はいわば“出稼ぎ”出演したというが、本人も高く評価する傑作。阪妻と右太衛門の共演は本作で最後となるが、最後を飾るに相応しい対決ぶりである。

'51(松竹京都)旗本・水野十郎左衛門 伊藤大輔 八尋不二 柳川真一 依田義賢 石本秀雄 角平吉 深井史郎 阪東妻三郎 山田五十鈴 高峰三枝子 月形龍之介 高橋貞二 高田浩吉 河原崎權三郎 小月牙子 花柳小菊 進藤英太郎 三島雅夫 山本礼三郎 市川小太夫 三井弘次

4 2/17(土)3:00pm 2/25(日)0:00pm

乞食大将(62分・35mm・白黒)

敗戦直前に製作され、その後7年間上映が見送られた作品で、正しい武士としての生き方を貫いた後藤又兵衛の姿が描かれる。終戦間際の浮かばれない状況下で生まれた本作の明朗な作風には製作当時の大映社長・菊池寛も、演じた右太衛門本人も心が晴れる思いがしたという。

'52(大映京都)後藤又兵衛基次 松田定次 大佛次郎 八尋不二 川崎新太郎 角平吉 白木義信 藤野秀夫 中村芳子 月形龍之介 羅門光三郎 嵐徳三郎 荒木忍 香川良介 葛木香一 小川隆 見明凡太郎(朗) 澤村マサヒコ

5 2/18(日)0:00pm 3/3(土)3:00pm

旗本退屈男 謎の幽霊船

(90分・35mm・カラー)

「旗本退屈男」の20本目を記念する、シリーズとしては初めてのイーストマンカラー使用作品。お家乗っ取りの危機にさらされた琉球王国を退屈男が救う。描かれる琉球の人物など、琉球の史実および風俗のリアルさはともかく、独特な異国情緒が作品の魅力となっている。

'56(東映京都)早乙女主水之介 松田定次 佐々木味津三 比佐芳武 川崎新太郎 桂長四郎 深井史郎 江原真二郎 薄田研二 原健策 舟津進 横山エンタツ 山形勲 三島雅夫 進藤英太郎 田代百合子 杉狂児 渡辺篤 伊東亮英

6 2/18(日)3:00pm 3/2(金)6:00pm

浪人八景(95分・35mm・カラー)

侍に追われた武家の娘に夫を偽るよう頼まれた浪人(右太衛門)は、追手側にいる昔愛した姫と再会し、姫の危機を救う。元々本作を撮る予定であった佐々木康の体調不良により、加藤泰が監督を務めたというが、加藤監督自身も結核を患いながら演出に当たった。

'58(東映京都)浪人・比良雪太郎 加藤泰 山手樹一郎 鈴木兵吾 伊藤武夫 鈴木孝俊 高橋半 長谷川裕見子 雪代敬子 里見浩太郎 勝浦千浪 加賀邦男 堺駿二 宇佐美清 藤田進 徳大寺伸 志村喬 新藤英太郎

7 2/23(金)2:00pm 3/3(土)0:00pm

旗本退屈男(108分・35mm・カラー)

「出演300本目記念作品」として製作された旗本退屈男映画の決定版。退屈男の衣装への拘りは戦後さらに強まり、各作品12、3枚衣裳を替えるのが常となるが、本作では15、6枚衣裳替えがある。民意と家臣たちの様子を窺うべく仕組んだ伊達の名君の方策に退屈男が一役買う。

'58(東映京都)早乙女主水之介 松田定次 佐々木味津三 比佐芳武 川崎新太郎 川島泰三 深井史郎 中村錦之助 大川橋蔵 東千代之介 里見浩太郎 北大路欣也 南郷京之助 尾上鯉之助 丘さとみ 桜町弘子 浦里はるみ 植木千恵 花園ひろみ 大川恵子 進藤英太郎 柳永二郎

8 2/23(金)6:00pm 3/4(日)0:00pm

きさらぎ無双剣(93分・35mm・カラー)

京都新聞の連載小説を原作に、江戸の町に大混乱を起し、江戸城を襲おうとする者たちの陰謀に立ち向かう男たちの姿が描かれる。立ち回りの鮮やかな近衛十四郎を相手に披露した右太衛門のキレの良い殺陣は本人も特に気に入っていたという。

'62(東映京都)竜胆月之介 佐々木康 五味康祐 結束信二 鷲尾元也 吉村晟安 阿部皓哉 松方弘樹 里見浩太郎 大川恵子 高田浩吉 近衛十四郎 若山富三郎 東千代之介 筑波久子 青山京子

9 2/24(土)0:00pm 3/4(日)3:00pm

忍び大名(88分・35mm・白黒)

右太衛門の芸に精通した佐々木康監督と右太衛門の両者がテレビへ転じる前の最後の映画作品。藩主の跡取り問題を解決すべく、勇敢な家臣たちが闘いを繰り広げる。主役は里見浩太郎(朗)だが、派手な立ち回りなどで主役に比肩する人物を右太衛門が演じる。

'64(東映京都)石川寅次郎 佐々木康 比佐芳武 山岸長樹 桂長四郎 阿部皓哉 里見浩太郎(朗) 高田浩吉 入江若葉 青山京子 三島ゆり子 品川隆二 原田甲子郎 宇佐美淳也 片岡栄二郎

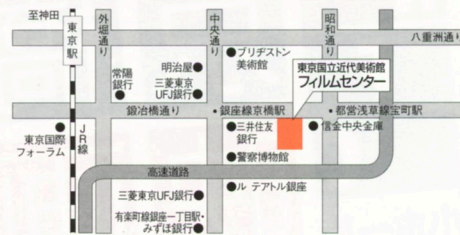


乞食大将

●《京橋映画小劇場》とは

平成18(2006)年度よりフィルムセンターは、これまで教育機関のための特別映写や一部の共催事業の会場として使用されてきた小ホールを、《京橋映画小劇場》(KYOBASHI-ZA)の名のもと、年に数回、フィルムセンターの主催上映企画にも利用し、さらなる上映活動の拡充を図ることとなりました。

フィルムセンター所蔵作品の公開を中心に、外部団体との共催企画も引き続き模索しつつ、多彩な上映企画の実現を目指します。大ホール・展示室企画ともども、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:  
東京外口線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
JR東口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ウェブサイト:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

